

## 10) 自転車通行環境の整備状況

浜松市は、平成 25 年（2013 年）8 月に「浜松市自転車走行空間等整備計画」を策定し、自転車のネットワーク計画を策定し、自転車通行空間の整備を進めてきました。

自転車ネットワーク路線は、以下の基幹ネットワーク、目的別ネットワークから構成されています。

### ○ 基幹ネットワーク

- ・大規模自転車道等（太平洋岸自転車道（構想路線）、浜松御前崎自転車道・浜名湖周遊自転車道、自転車歩行者専用道路）及び浜松市総合交通計画において、本市の道路ネットワークとして位置づけられた道路のうち、高規格幹線道路と自動車専用道路を除く 5 環状 11 放射道路

### ○ 目的別ネットワーク：

- ・基幹ネットワークを補完するために、それぞれ目的となる施設等を結ぶ主要な道路を位置づけた下表の 3 つのネットワーク

表 3 目的別ネットワークの種類とアクセスする施設、補完する道路等

目的別ネットワーク	アクセスする施設等	補完する道路等
健康・スポーツ・レクリエーション・観光ネットワーク	スポーツ施設、公園、観光施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬込川沿いの堤防道路、佐鳴湖の周遊道路等を設定する。</li> <li>・基幹ネットワークと重複するが、大規模自転車道等、天竜浜名湖鉄道沿いの国道 362 号、天竜川河川敷内に新たに自転車道を設定することにより、都市計画区域内の周遊するネットワークを形成する。</li> </ul>
通勤・通学・買物ネットワーク	就業地、大学、高校、商業施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模工業・商業地と住宅地をつなぐ道路及び基幹ネットワークの代替となるような道路（市道布橋住吉 1 号や遠州鉄道沿いの電車通り（市道曳馬中田島線等））を設定する。</li> </ul>
生活系ネットワーク	公共施設等新市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市都市計画マスタープランにおける都心、副都心、地域交流拠点、地域生活拠点内のエリアにおいて、設定する。</li> </ul>

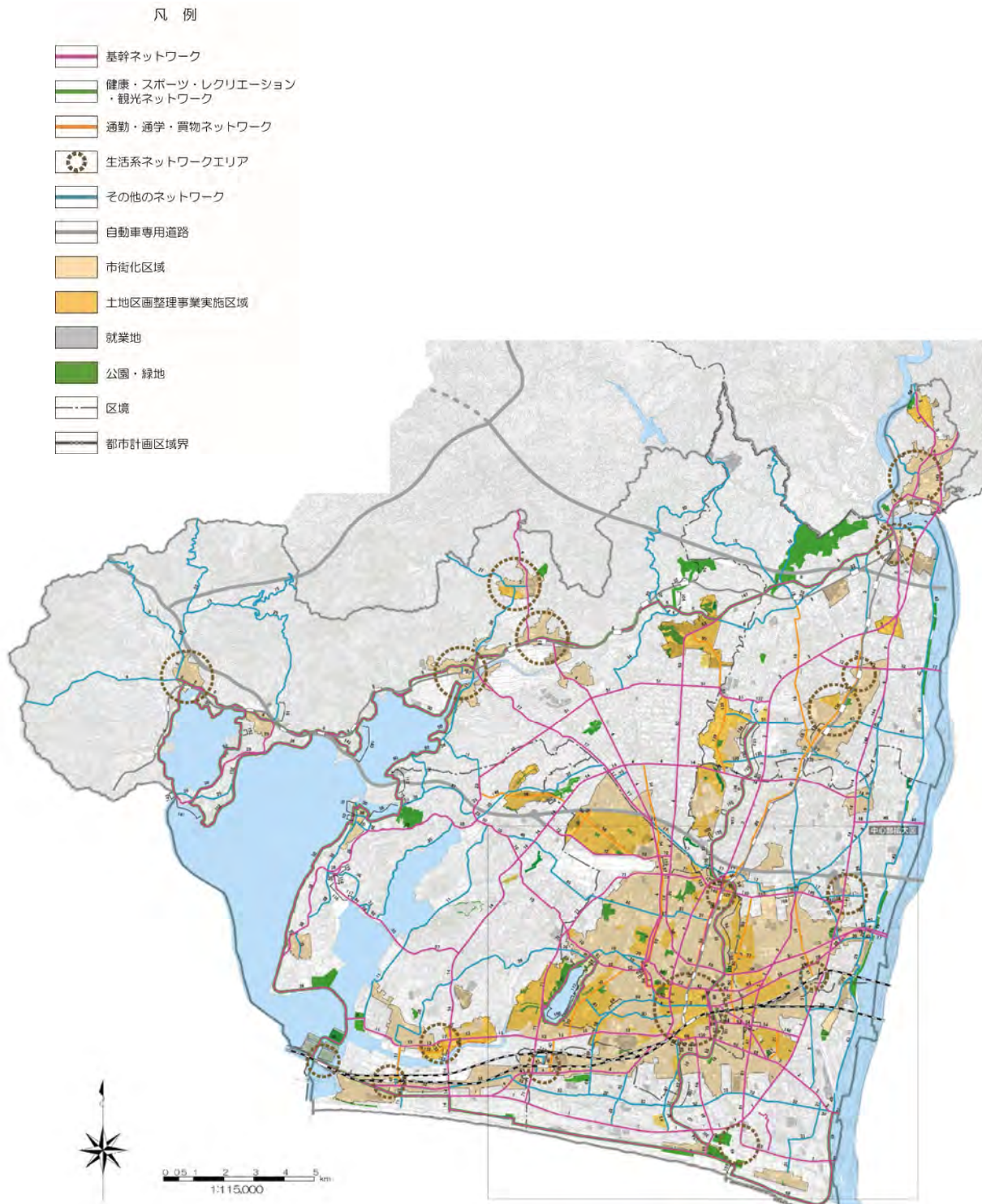


図 125 自転車総合ネットワーク図

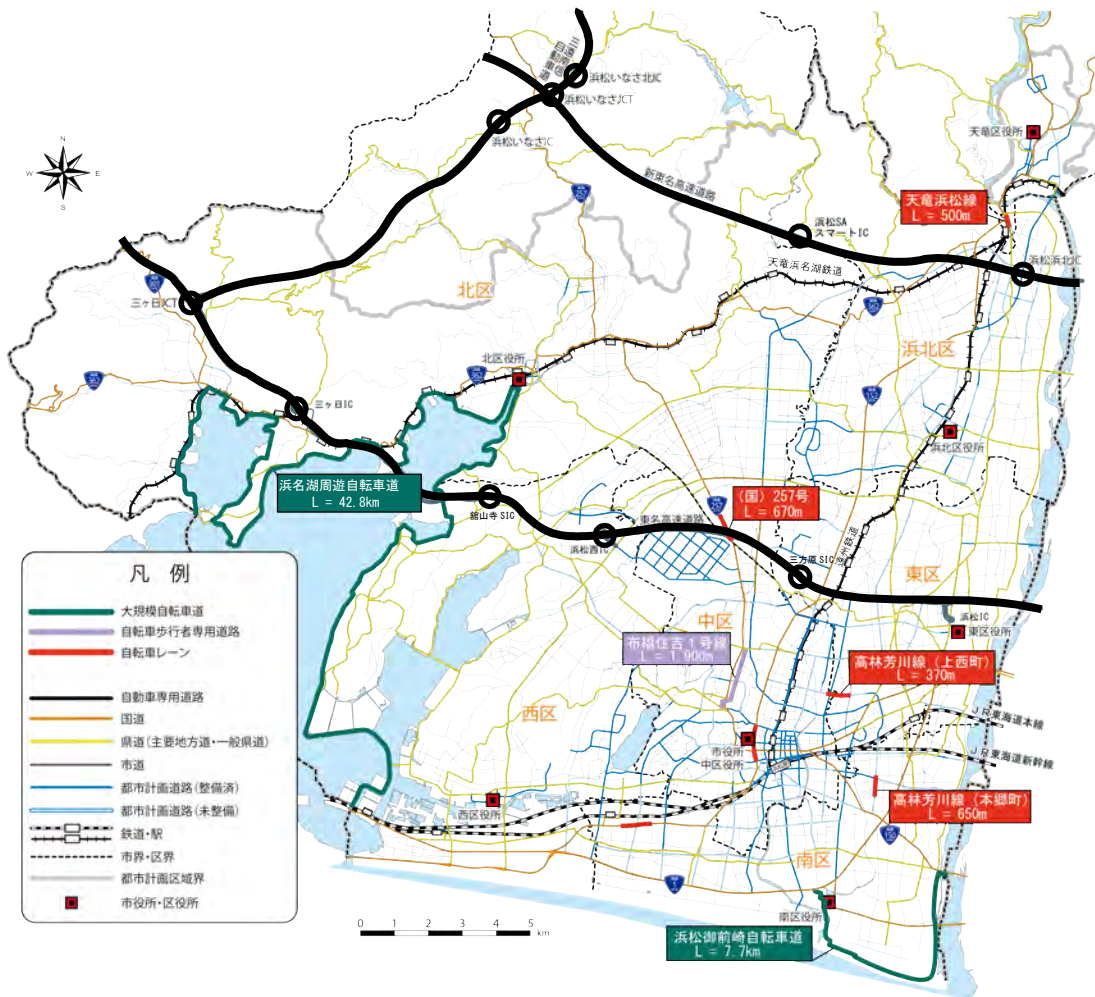
資料：浜松市自転車走行空間等整備計画(H25.8)より太平洋岸自転車道構想(R1.9 時点)を反映

本市の自転車専用道路は、天竜川河口付近の天竜川及び遠州灘沿いに、一般県道浜松御前崎自転車道線が 7.7km、浜名湖沿岸に一般県道浜名湖周遊自転車道線が 40.2km 整備されています。

自転車専用通行帯（自転車レーン）は市道高林芳川線において、南区本郷町で 650m、東区上西町で 370m、北区初生町の国道 257 号で 670m、天竜区西鹿島の主要地方道天竜浜松線で 500m と 4 箇所整備されています。

車道上に矢羽根型路面標示を設置している区間は、南区可美の国道 257 号で 720m、中区伝馬町～連尺町の国道 257 号で 300m、連尺町～下池川町で 750m と 3 箇所整備されています。

自転車の利活用を促進するためには、これまで以上に計画的に自転車通行空間の整備を推進していく必要があります。



浜松御前崎自転車道



東区上西町 自転車レーン



中区伝馬町～連尺  
矢羽根型路面表示

図 16 自転車通行空間の整備状況図



## 11) 大規模サイクリングルート

### (1) 太平洋岸自転車道（構想）

太平洋岸自転車道構想は、千葉県銚子市を起点とし、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県の各太平洋岸を通り、和歌山県和歌山市を終点とする延長約 1,400 km の自転車道です。昭和 44 年に全体構想が発表され、浜松市では浜松御前崎自転車道の一部区間の整備等が進められてきました。

令和 2 年（2020 年）夏の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、国と関係自治体から構成される太平洋岸自転車道推進協議会が令和元年（2019 年）に設立され、モデルルートとしてサイクリストの受け入れ、環境整備、魅力づくり、情報発信等に官民が連携して取り組んでいます。

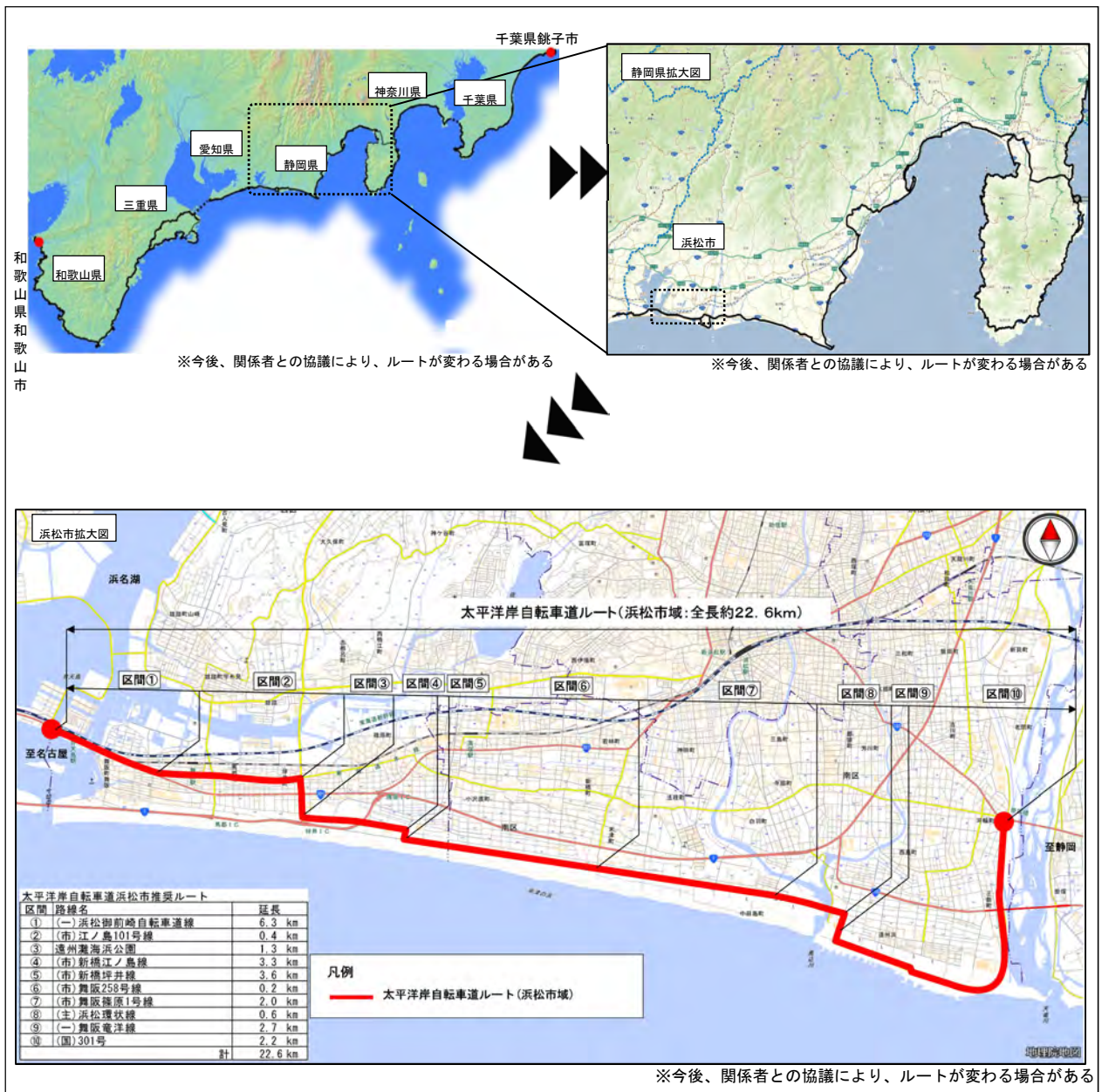


図 13 太平洋岸自転車道構想(令和元年(2019年)9月時点)

(2) 浜名湖一周サイクリングロード（ハマイチ）

浜名湖を一周するサイクリングロードは、浜名湖周遊自転車道、国道 301 号、その他道路などで構成されており、これらを総称して“ハマイチ”と呼ばれ、平成 19 年（2007 年）に風光明媚なサイクリングルートとして日本風景街道にも認定されました。

浜名湖のサイクルツーリズムに関する取組は、平成 20 年（2008 年）に官民が連携し設立した「浜名湖観光圏推進協議会」が策定した「浜名湖観光圏整備実施計画」に基づきおこなわれています。

これらの取組をさらに推進するための組織として、平成 27 年（2015 年）には「浜名湖サイクルツーリズム推進会議」が設立され、モデルルートとして、サイクリストの受け入れ、環境整備、魅力づくり、ICTを活用した情報発信等、鉄道（天竜浜名湖鉄道）や舟運（浜名湖遊覧船）と連携した取組を行っています。



【サイクリストの受け入れ、環境整備等取組事例】



図 19 路面表示と案内サイン



図 20 バイシクルピット(休憩所)



図 21 鉄道や舟運との連携



## 12) サイクスポーツ、健康

オートレース場や公園等を利用した自転車関連イベント（競技）が開催されています。



図 22 市民スポーツ祭 自転車競技の様子

資料：浜松市自転車競技連盟ホームページ

また、浜松市は、厚生労働省が調査した大都市別の健康寿命について平成 22 年（2010 年）、平成 25 年（2013 年）に引き続き平成 28 年（2016 年）も男女とも第 1 位になりました。

健康寿命が長寿の背景の一つとして、浜松市のくらしやすさ（市民就労率が高い、地域活動が活発である、気候や食、医療体制に恵まれているなど）が挙げられますが、市民一人一人がこのことを認識し、日頃から適度な運動・バランスの良い食事等、日々の健康づくりを見直していくことで健康寿命を延ばしていくことが大切です、これを市もサポートしています。

表 4 20 大都市の健康寿命トップ 5 (2016 年)

順位	男		女	
	都市名	年齢	都市名	年齢
1	浜松	73.19	浜松	76.19
2	神戸	72.54	名古屋	75.86
3	静岡	72.53	相模原	75.35
4	名古屋	72.47	福岡	75.22
5	相模原	72.35	新潟	75.2

※20 大都市：全国 19 政令指定都市（2016 年は地震で被災した熊本市を除く）に東京都区部を加えた計 20 都市  
資料：浜松市ホームページ

## 13) JR浜松駅周辺の市営駐輪場の状況

都心部の市営駐輪場は利用率が高く、これら全ての駐輪場について、最大駐輪台数が収容可能台数を超えています。駐輪場内は、煩雑に置かれた自転車で混雑しており、駐輪が困難な自転車が周辺歩道に放置される等、歩行者の通行の支障となっています。

また、次ページに示す通り、放置自転車禁止区域内の駐輪場の収容可能台数が増加傾向であるにも関わらず、放置自転車台数が減少傾向に無いことから、利用者のニーズに合った駐輪場の配置、駐輪容量、利用環境が整えられているとは言えません。

さらに、自転車の盗難事件が多発、駐輪場内の火災も発生していることから、駐輪場の「量」と「質」の改善が求められています。

表5 都心部の自転車駐車場利用状況

駐輪場名称	A 収容台数 (台)	B 最大 駐輪台数 (台)	ピーク 発生 時間帯	C 駐輪場 利用率 (%) B÷A	時間帯別駐輪台数							
					平成30年 9月26日(水)				平成30年 9月23日(日)			
					平日 6時	平日 10時	平日 15時	平日 20時	休日 6時	休日 10時	休日 15時	休日 20時
浜松駅東 自転車駐車場	588	713	平日15時	122%	513	681	713	479	364	364	592	451
浜松駅東第二 自転車等駐車場	171	258	平日10時	151%	109	258	227	160	95	162	169	122
浜松駅 自転車等駐車場	388	564	休日15時	146%	409	352	375	427	477	508	564	494
浜松駅西 自転車等駐車場	642	769	休日15時	120%	575	644	627	849	631	718	768	673
鍛冶町 自転車駐車場	10	19	平日15時	190%	7	16	19	18	10	16	17	12
ザザシティ前 自転車駐車場	100	136	平日20時	136%	22	94	125	136	20	90	87	55
ザザシティ南 自転車駐車場	33	85	平日20時	197%	13	47	48	85	6	30	35	40
第一通り駅 自転車駐車場	253	307	平日20時	121%	172	218	174	307	174	219	249	236
達州病院駅 自転車駐車場	253	258	休日20時	102%	257	175	174	255	244	235	256	258
新浜松駅南 自転車駐車場	100	200	休日15時	200%	106	176	173	148	143	165	200	139
合計	2,534	3,289		130%	2,183	2,861	2,655	2,644	2,164	2,507	2,938	2,480

資料：平成30年度浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画策定業務「駐輪台数調査」

資料：平成30年度浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画策定業務「駐輪台数調査」

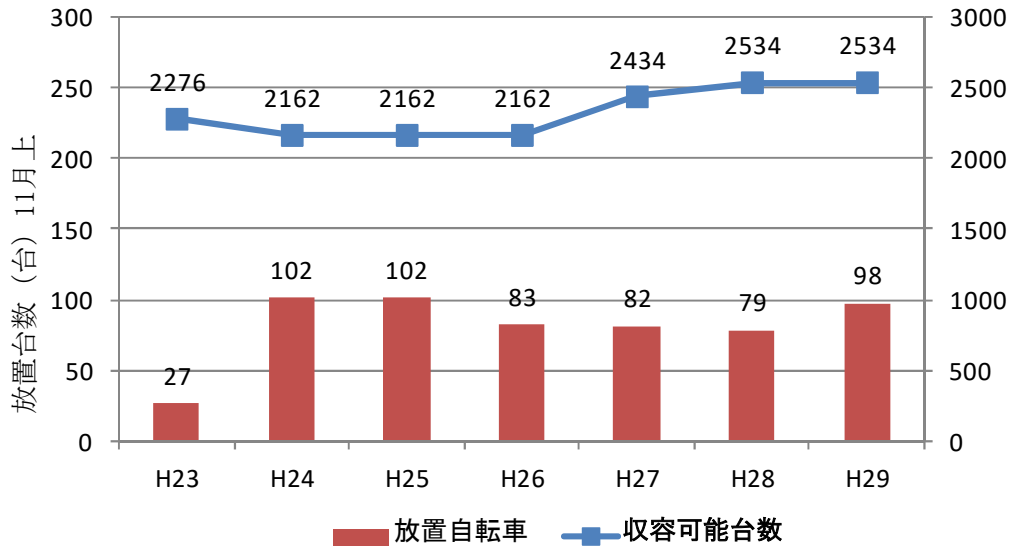


図 23 放置自転車禁止区域主要地点における放置台数と収容可能台数  
資料：浜松市資料（各年度5月、1ヶ月当たりの放置台数）



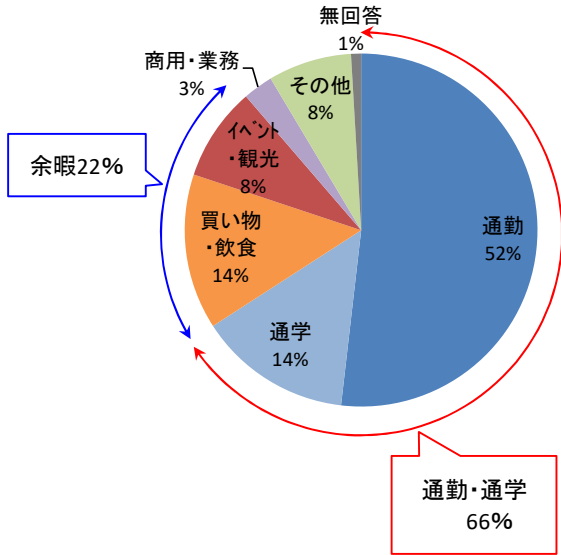
図 24 放置自転車禁止区域(赤色)・規制区域(黄色)



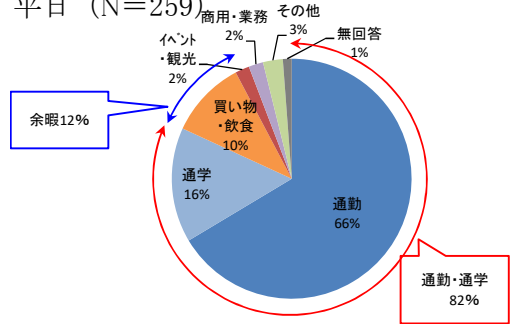
都心部で駐輪している人の利用目的は、平日、休日ともに「通勤」「通学」が多く、駐輪後の目的地と自転車利用の出発地は「自宅から駅」が多くなっています。

また、駐輪時間は「6時間超、18時間以下」が約6割と、朝から夜まで駐輪するような長時間利用が多くなっています。

全体 (N=548)



平日 (N=259)



休日 (N=289)

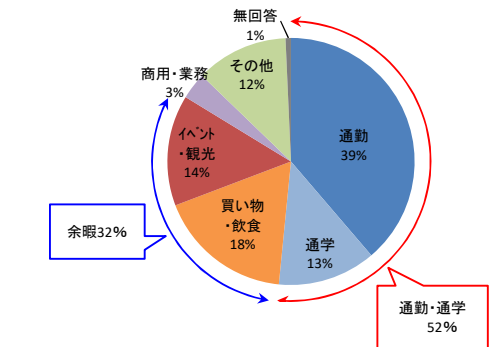


図 25 自転車等を利用した主な目的

資料：浜松駅周辺駐輪状況アンケート (H30.9)

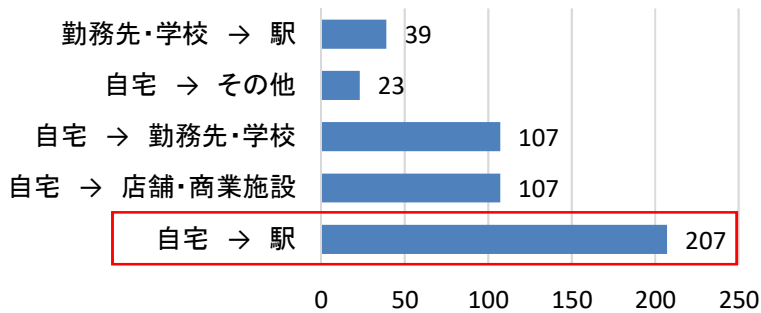


図 26 駐輪後の目的地と自転車利用の出発地  
(平日・休日各1日計、上位5位)

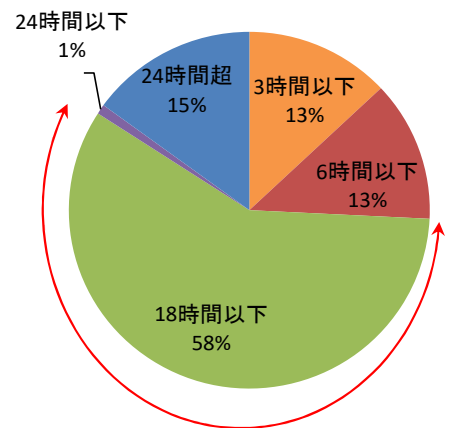


図 27 駐輪時間  
(平日・休日各1日計)

資料：浜松駅周辺駐輪状況アンケート (H30.9)

### 14) 郊外部における駐輪場の状況

郊外部（JR浜松駅、遠州鉄道鉄道線新浜松駅周辺を除く）では、鉄道駅全 52 駅中 32 駅に駐輪場が設置され、バス停の周辺 36 箇所に駐輪場が設置されるなど、公共交通機関の利用促進の一環として、サイクル&ライドの普及促進に取り組んでいます。

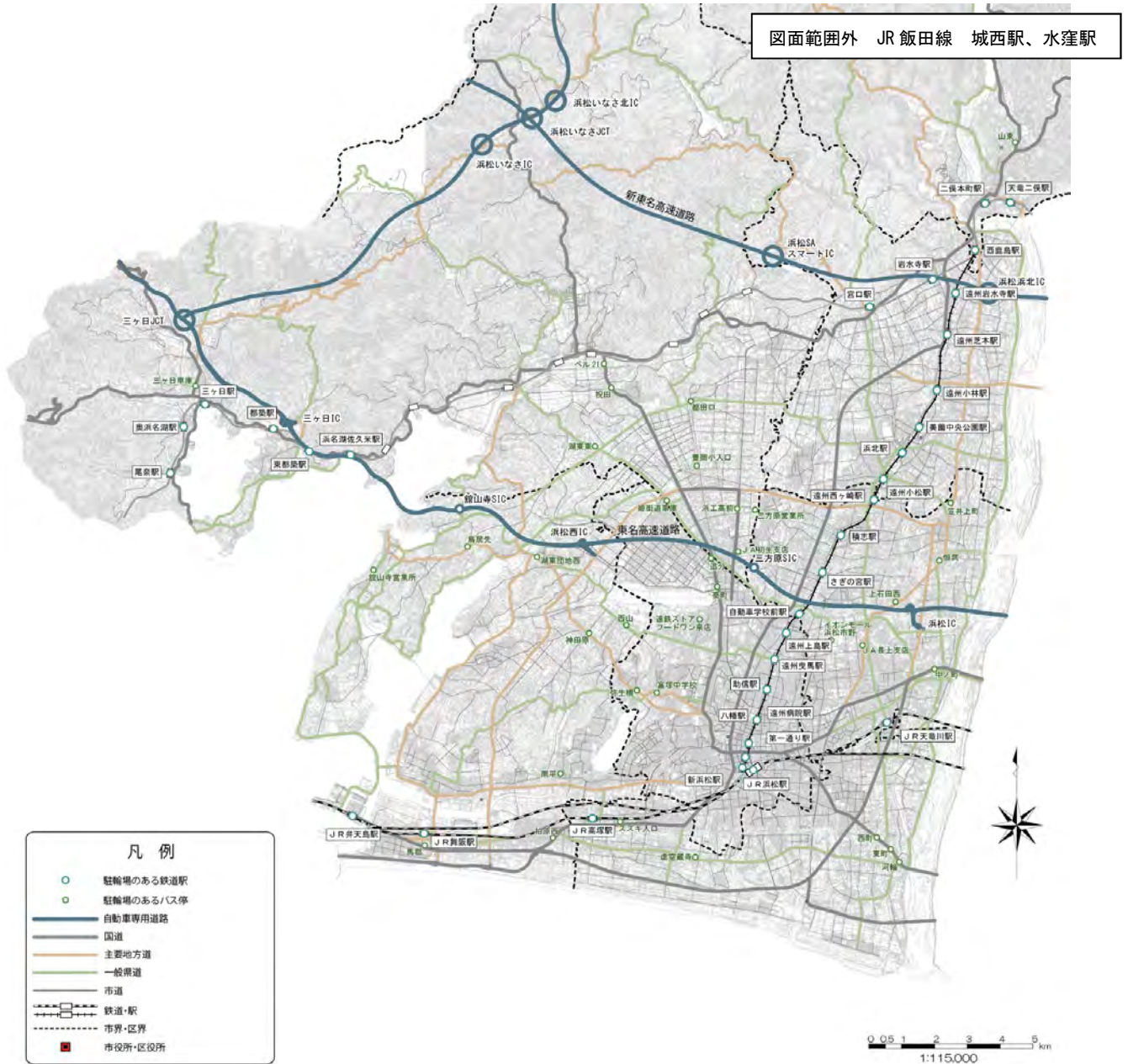


図 29 鉄道駅・バス停における駐輪場設置状況(平成 30 年4月1日現在)